| 学校番号 | 1009 |
|---|---|

# 令和８年度　情報科

| 教科 | 情報 | 科目 | 情報の処理 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２・３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 全商ビジネス文書実務検定　模擬試験問題集　２級・３級（実教出版）<br>情報処理技能検定試験表計算　２・準２級編　（日本情報処理検定協会） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報化社会が進展していく中で、コンピュータや情報社会や一般常識について、実践的・体験的に学習することで情報化社会を生き抜く力を身につけましょう。
・コミュニケーション力が求められている中で、社会人として恥ずかしくないように目的や場面に応じたコミュニケーションの手段を使い分ける力を身につけましょう。

## 2　学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解する。
・情報機器やアプリケーションなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現する。
・効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、社会人として積極的に参画する態度を育てる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | コンピュータやデータ、アプリケーションの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 | 情報や情報社会に関心をもち、身の回りの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期・2学期 | 情報デザイン | ワープロソフトを利用した情報デザイン | a:情報デザインの考え方や方法を理解し表現することができる。<br>b:適切かつ効果的な情報デザインを考えることができる。<br>c:関心や意欲をもって自ら取り組んでいる | 授業や授業プリントの取り組み内容<br>実技課題の取り組み内容 | 授業や授業プリントの取り組み内容<br>実技課題の取り組み内容 | 授業や授業プリントの取り組み内容<br>実技課題の取り組み内容 |
| 1学期・2学期 | 情報社会について知る | 情報社会や一般社会で利用されている単語や言葉について学ぶ | a:情報社会や一般社会で利用されている単語や言葉を理解できている。<br>b:与えられた課題について、学んだ知識を活用して、課題の解決ができる。<br>c:関心や意欲をもって自ら取り組んでいる | 授業や授業プリントの取り組み内容<br>課題の取り組み内容 | 授業や授業プリントの取り組み内容<br>課題の取り組み内容 | 授業や授業プリントの取り組み内容<br>課題の取り組み内容 |
| 2学期・3学期 | データの活用 | データ分析のための表計算ソフト(エクセル)の活用 | a:データを収集、整理、分析する方法について理解し表現することができる。<br>b:適切かつ効果的にデータを分析し、表現することができる。<br>c:関心や意欲をもって自ら取り組んでいる | 授業や授業プリントの取り組み内容<br>実技課題の取り組み内容 | 授業や授業プリントの取り組み内容<br>実技課題の取り組み内容 | 授業や授業プリントの取り組み内容<br>実技課題の取り組み内容 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度